

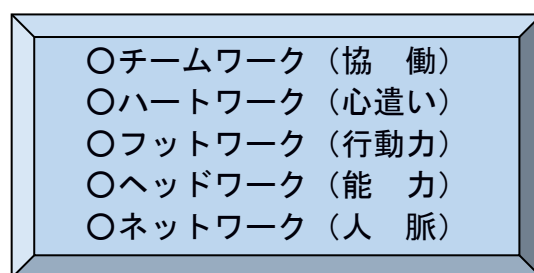
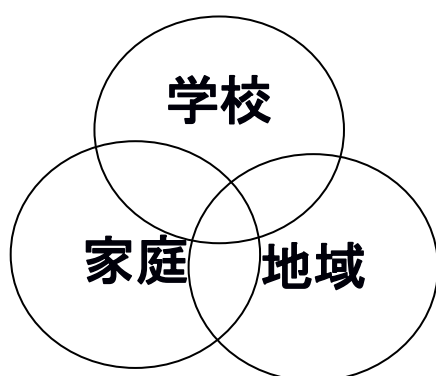
令和7年度 千代田区立和泉小学校学校経営方針

千代田区立和泉小学校 校長 服部 達彦

「学校力」、「家庭力」、「地域力」の3つの力を合わせた「協育」を学校経営方針の柱とし、「五つのワーク」をモットーに学校経営にあたる。

特に「個別最適化した学力向上に向けた取組の充実」、「主体性・協働性を育む教育の充実」を図り、「児童中心（アウトプット中心）の授業へと改善を図る」。主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点から、タブレットを有効活用し、「何を学ぶかだけでなく「どのように学ぶか」も重視した授業を行っていく」。

教職員が一丸となって、今まで以上に学校と家庭・地域が協力した「チーム和泉」で、「協育」を推進し、さらに「とびきりの和泉小学校」を創っていく。



項目	
道徳性の育成	「特別の教科 道徳」を要として教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図り、他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。いじめの解決に向けて主体的に行動しようとする意識を醸成する。 いじめを、「しない、させない、見逃さない」の徹底を図る。
学力向上	学力調査や意識調査等を分析・活用し、 個別最適な学びに向けた授業改善 を実践し、 確かな学び を育む教育の推進を図る。 主体性・協働性を育むツールとして、タブレットの有効活用を推進する。
体力の向上	体力向上週間、コーディネーショントレーニングなどの実践をとおして、運動やスポーツの楽しさ、大切さを実感できる取組を継続して行い、 運動の日常化 を図る。
特色ある教育活動の推進	ファミリー班活動（縦割り班）等の異学年交流を通して、自己肯定感や自己有用感を高めていく。和泉ビックバンドクラブ、神田囃子、神田雷神太鼓など、地域文化等の理解啓発を 地域と連携 してすすめていく。
学習環境整備・特別支援教育充実	一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善するため、 適切な指導と必要な支援 を行うことにより、誰一人取り残さない学びの保障をする。
家庭・地域との協働	授業公開、学校だより等で、教育活動について積極的に発信し、保護者・地域への理解啓発を図り、 協育の推進・強化を図る。 地域行事やPTA活動などに積極的に協力し、学校・保護者・地域の 協育を推進 する。
サービスの厳正	服務事故防止研修や職員会議等において、「教職員の服務に関するガイドライン」（使命を全うする！）などを活用し、 服務事故根絶 を図る。
ライフ・ワーク・バランス	会議運営等のスリム化を図り、校務における「 無駄・邑・無理 」（ダ・ラ・リ）を 削減 する。 前例踏襲主義を排除し、やり甲斐をもって 主体的に組織に貢献 しようとする意識の醸成を図る。